

調査レポート

2013年7～9月期のGDP(2次速報)予測

12月9日公表予定の2013年7～9月期の実質GDP成長率(2次速報値)は前期比+0.5%(年率+1.9%)と、1次速報値の同+0.5%(年率+1.9%)から大きく修正されることはないと予想される。もっとも、今回は2011年度の確々報値および2012年度の確報値も発表されるため、過去の実績分も修正されることになる見込みである。このため、前期比の伸びが同じであったとしても単純な比較はできない。

需要項目別の内訳をみると、同期の法人企業統計の結果を受けて、設備投資が1次速報値の前期比+0.2%から同-0.1%に小幅下方修正されると見込まれるほか、在庫投資も、同じく法人企業統計の結果を反映させると、実質GDPに対する前期比寄与度は+0.4%から+0.3%に下方修正されるであろう。一方、公共投資は、9月の建設総合統計の結果を勘案すると、前期比+6.5%から同+9.0%に大きく上方修正されると考えられる。その他の需要項目は1次速報値と大きくは変わらないであろう。

	2012年			2013年			前期比(%)	
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	7-9 (1次)	変化幅 (%ポイント)
実質GDP	-0.2	-0.9	0.1	1.1	0.9	0.5	0.5	0.0
同(年率)	-0.8	-3.7	0.6	4.3	3.8	1.9	1.9	0.0
同(前年同期比)	3.8	0.3	0.3	0.3	1.1	2.7	2.7	-0.0
内需寄与度(*)	0.1	-0.4	0.3	0.7	0.8	0.9	0.9	0.0
個人消費	0.1	-0.3	0.4	0.8	0.6	0.1	0.1	0.0
住宅投資	2.7	1.1	3.2	2.3	0.4	2.7	2.7	0.0
設備投資	-0.6	-3.3	-1.2	0.1	1.1	-0.1	0.2	-0.3
民間在庫(*)	-0.2	0.0	-0.2	0.0	-0.1	0.3	0.4	-0.1
政府最終消費	0.1	0.4	0.6	0.0	0.8	0.3	0.3	0.0
公共投資	6.0	1.2	3.3	2.5	4.8	9.0	6.5	2.5
外需寄与度(*)	-0.3	-0.5	-0.1	0.4	0.1	-0.5	-0.5	-0.0
輸出	-0.5	-3.8	-3.0	3.9	2.9	-0.6	-0.6	0.0
輸入	1.4	-0.3	-1.7	1.0	1.7	2.2	2.2	0.0
名目GDP	-0.7	-1.2	0.2	0.7	1.1	0.4	0.4	0.0
同(年率)	-2.6	-4.6	0.7	2.8	4.3	1.6	1.6	0.0
同(前年同期比)	2.8	-0.5	-0.4	-0.8	0.6	2.4	2.4	-0.0
GDPデフレーター (前年同期比)	-1.0	-0.8	-0.7	-1.1	-0.5	-0.3	-0.3	-0.0

(注) 内需寄与度、民間在庫、外需寄与度は実質GDPに対する寄与度
(出所) 内閣府「四半期別GDP速報」

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

 調査部 主任研究員 小林 真一郎
 〒105-8501 東京都港区虎ノ門5-11-2
 TEL:03-6733-1070

12月9日に公表予定の2013年7~9月期の実質GDP成長率(2次速報値)は前期比+0.5%(年率+1.9%)と、1次速報値の同+0.5%(年率+1.9%)から、ほとんど変更されない見込みである。名目GDP成長率も同+0.4%(年率+1.6%)と、1次速報値から数字は変更ないであろう。GDPデフレーターも1次速報値の前年比-0.3%から修正はない見込みである。

もっとも、同じタイミングで2011年度の確々報値および2012年度の確報値の発表が予定されており、四半期の実績値も過去に遡及して修正されることになる。このため、伸び率に変更がなかったとしても、単純な比較はできない点には注意が必要である。

主な需要項目別の動向(実質ベース)は以下の通りである。

- ・個人消費、住宅投資は、その後発表された統計を勘案しても、大きな修正はないとみられる。
- ・民間企業設備投資は、需要サイドの統計である7~9月期の法人企業統計の結果を受けて、1次速報値の前期比+0.2%から同-0.1%へ若干下方修正されるであろう。前期比でマイナスとなれば、3四半期ぶりとなる。
- ・在庫投資は、7~9月期の法人企業統計の結果を勘案すると、実質GDPに対する前期比寄与度は、1次速報値の+0.4%から+0.3%に下方修正されると予想される。
- ・公共投資は、9月の建設総合統計の結果を反映すると、1次速報値の前期比+6.5%から同+9.0%に大きく上方修正されるであろう。
- ・政府最終消費、輸出及び輸入については1次速報値からほとんど変更はないとみられる。

- ご利用に際して -

- 1 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 1 また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 1 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 1 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 1 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡下さい。